令和3年度看護職員募集要項

1.応募資格

令和3年3月に看護師・助産師養成機関を
卒業見込みの方、もしくは有資格者

2.提出書類

①直筆の履歴書（本院指定の書式。HPからダウンロード可能）
②健康状況申告書（本院指定の書式。HPからダウンロード可能）
③成績証明書
④卒業見込み証明書（有資格者は卒業証明書）
⑤看護師・助産師・保健師免許の写し（有資格者のみ）

3.願書締め切りおよび試験日
（令和2年6月～7月予定）

詳しくは、HPをご覧いただくか、
人事課までお問い合わせ下さい。
【E-mail】jinji@fukui-med.jrc.or.jp

4.試験内容

適性試験、小論文、面接試験により選考を行います。

■病院見学会

5月9日（土）に行います。
その他は、ご希望により相談に応じます。
お申込はE-mailでお送り下さい。
【E-mail】jinji@fukui-med.jrc.or.jp

日本赤十字社

福井赤十字病院 人事課
〒918-8501　福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630（代）／FAX.0776-36-4133
HP http://www.fukui-med.jrc.or.jp/

令和3年度 看護職員募集案内

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society　福井赤十字病院

病院の理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

看護部の理念

赤十字の基本理念である
人道に基づき、
一人ひとりを大切にし、
その人らしい生活が
できるよう支援します。

看護部の基本方針

1 私たちは、一人ひとりの
人権を守り、意思を尊重します。

2 私たちは、安全で安楽な、
やさしい看護を提供します。

3 私たちは、専門職業人としての
自覚を持ち、自己研鑽に努めます。

4 私たちは、地域の保健・
医療・福祉と連携し、
継続した看護を行います。

あなたの居場所はここにある。

福井赤十字病院は、地域の求める「体と心にやさしい医療」に貢献します。

「看護部長よりメッセージ」

副院長兼看護部長
内田 智美
TOMOMI UCHIDA

看護師（救護員）の養成・育成は日本赤十字社の使命であり、福井赤十字病院では新人教育や継続教育の支援体制が充実しています。また、急性期病院の中で優しい看護（笑顔と技）を行うために、デイパートナー方式の看護体制を取り入れています。毎日の看護業務をパートナーと一緒に行うことで、不安なく業務ができます。そんな福井赤十字病院の中に「あなたの居場所」を見つけてください。大切なパートナーを待っています。

病院概要

病院名	福井赤十字病院
所在地	〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号 TEL.0776-36-3630（代） FAX.0776-36-4133
開設年月日	大正14年4月1日
院長	高木 治樹
許可病床数	600床
診療科	内科、精神科、神経内科、 呼吸器内科、消化器内科、 循環器内科、小児科、外科、 整形外科、形成外科、脳神経外科、 呼吸器外科、心臓血管外科、 皮膚科、腎臓・泌尿器科、 産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、放射線科、 病理診断科、麻酔科、歯科、 歯科口腔外科
職員数	1,057名（内看護職員556名） 令和2年1月1日現在

◆日本医療機能評価機構による
病院機能評価認定病院
◆地域医療支援病院
◆地域がん診療連携拠点病院
◆地域周産期母子医療センター
◆地域災害拠点病院

新人看護師

患者さんとその家族への気配りを心がけ、視野を広く持ち、寄り添える看護師になる。

1-7病棟／看護師経験1年
福井県立大学卒

土田 麻央
MAO TSUCHIDA

高校2年生の時、看護師の体験実習に参加したことがきっかけで、この仕事に興味を持ちました。現在は、糖尿病や化学療法を受ける患者さんの看護に従事し、患者さんはもちろん、そのご家族との交流やケアにも心を配っています。

日々の業務は命に関わることが多く、とにかく緊張の連続です。そのせいか、学生時より細かなところまで目が行き届くようになり、几帳面な性格になったような気もします。仕事中に、患者さんからの「ありがとう」「楽になったよ」の言葉で張り詰めた緊張が一時ほぐれ、その都度、やりがいと喜びを感じます。

これからも、充実したレベル教育や院内研修に参加しながら知識と技術を磨くことで広い視野を持ち、患者さんにしっかりと寄り添える看護師になりたいです。

あなたの仲間がここにいる。

やる気を武器に日々患者さんと向き合う姿。向上心の高い仲間がここにいます。

訪問看護師になるために様々な経験と看護に必要なキャリアを積んでいく。

ICU／看護師経験1年
敦賀市立看護大学卒

天谷　雫
SHIZUKU AMAYA

祖父の療養中、何もできなかった無力感から、看護師になって辛い思いをしている患者さんの力になろうと心に決めました。そして今、集中的な治療を必要とするICUで、安全で安楽なやさしい看護を行っています。特に積極的な声掛けを心がけています。

ICUは重症患者さんをケアする現場なので新人にとっては重責です。でも決して一人ではなく、先輩や上司のサポートや的確なアドバイスがあるからこそ、日々の業務に全力で向き合えています。

将来の目標は訪問看護師になることです。当院にはあらゆる分野のキャリアを積むことができる環境があります。今は目標に向って様々な経験を積み重ねて勉強し、患者さんとのコミュニケーションを大切にしたいです。

あなたの目標が近くにいる。

あなたの成長を、優しく、時には厳しく見守ってくれる心強い先輩たち。
看護の本質を理解し、笑顔と技術を兼ね備えた、頼れる存在が近くにいます。

プリセプター

より良い看護と後輩への指導経験は、人間的な成長にもなる。

2-4病棟／看護師経験5年・助産師・保健師

齊藤 みか
MIKA SAITO

家族の病気を機に放射線技師を目指していましたが、勉強を深めていくと看護師や助産師にも興味が出てきました。助産師資格を取得し、現在は婦人科病棟に勤務しています。

近年、不妊治療や若い女性の来院も多く、同性として深く寄り添い、患者さんにとって居心地の良い空間を提供できるよう心がけています。また、災害救護班にも所属し、災害看護の能力向上にも努めています。

現在は、プリセプターとして後輩を指導しています。自分の新人時代、やさしくて頼りになる先輩方からたくさん学びました。それを思い出しながら、後輩が不安にならないようなサポートを心がけています。指導する立場になって実感するのは、視野が広がったことです。後輩や学生への指導を通じて人間的な成長も得ることができました。

エキスパート

患者さんから学び、経験を積み重ねることで、活躍の場は増えていく。

2-6病棟／看護師経験23年
がん看護専門看護師・がん化学療法看護認定看護師

冨永 知恵子
CHIEKO TOMINAGA

姉の体調不良を目の当たりにして看護の道を目指しました。学生時の実習で脳神経外科を経験し、入職後も同科へ配属されました。日々症状が激変する患者さんから看護の重要性を学ばせていただきました。

その後、血液内科へ配属され、複雑ながん化学療法を患者さんにわかりやすく伝える必要があると感じて、認定看護師になることを決意しました。最初は患者さんのためでしたが、全体を俯瞰できるようになり、自分の成長にもつながりました。資格取得までの職場内サポートは万全で、勉強にも集中することができました。私が得た専門知識や技術は今、看護の現場で広く活用されています。

現在は、がん看護専門看護師として、グリーフケアにも通じる業務に従事しています。患者さんが不安な時にこそ寄り添える看護師は、縁の下の力持ち的な存在です。専門性を高めることで今後さらに活躍の場が広がり、やりがいも大きくなっていくと確信しています。

あなたの仲間が待っている。

職場環境や研修体制など、知りたいことは先輩たちに聞くのが一番。
今も、これからも、あなたの「知りたい」にしっかりと答えてくれます。

1-6病棟／看護師経験3年
福井大学卒
加藤 万糸
MAI KATO

多職種と協力しながらの看護

1-6病棟は循環器内科と腎臓・泌尿器科の混合病棟です。日々検査や手術が行われる中、多職種と協力しながら看護を行っています。入退院も多く、毎日忙しい病棟ですが、様々な経験を積むことができ、大変学びの多い環境です。定期的に病棟勉強会もあり、成長できる職場です。

2-5病棟／看護師経験3年
福井医療短期大学卒
北野 貴之
TAKAYUKI KITANO

個別性ある優しい看護

2-5病棟は眼科・耳鼻科・皮膚科・形成外科・歯科口腔外科の混合病棟です。入退院や手術が多く最初は大変でしたが、先輩の助言をもとに様々な疾患や看護を学べます。短期間で多くの患者さんと接するため、スタッフ一丸となって優しい看護を提供できるよう努力しています。

2-6病棟／看護師経験5年
武生看護専門学校卒
坪田 紫乃
SHINO TSUBOTA

患者さんや家族に寄り添う看護

2-6病棟は呼吸器内科・外科からなる呼吸器センターです。急性期から終末期まで幅広い疾患の患者さんが入院し、患者さんや家族を取り巻く環境や思いなどにも配慮し、寄り添う看護を行っています。看護師間のミーティングも定期的にあり、多くの知識や良い看護を吸収できる職場です。

2-7病棟／看護師経験3年
福井市医師会看護専門学校卒
森下 美穂
MIHO MORISHITA

回復していく患者の姿

2-7病棟は、整形外科・形成外科・内科の混合病棟です。特に整形外科では、手術やリハビリによってADLを拡大していく患者さんが多いため、回復される姿を見てやりがいを感じます。明るい雰囲気の病棟であり、様々なことを学び成長しながら毎日楽しく看護しています。

3-3(5)病棟／看護師経験3年
福井県立看護専門学校卒
佐々木 美祈
MINORI SASAKI

その人らしさを尊重する看護の心

3-3(5)病棟は呼吸器科・脳神経外科・神経内科・整形外科・腎臓・泌尿器科の混合病棟です。患者さんとご家族が住みなれた地域で安心した生活を送れるよう、他職種・地域スタッフと連携し、継続した看護を目指して退院支援を行っています。「その人らしさを尊重する看護の心」を養える温かな職場です。

集中治療室／看護師経験5年
日本赤十字社豊田看護大学卒
田中 祐一朗
YUICHIRO TANAKA

手厚く、幅広い看護の提供を目指して

集中治療室では、術後、院内急変、緊急入室に即座に対応し、看護師は救急外来も兼務しています。一般病棟とは違い、患者さんとの関わりが短く、入れ替わりが多い病棟ですが、患者さんやご家族の思いを傾聴することで手厚い看護を提供できるように日々心がけています。

研修制度と支援体制

研修支援体制

- ●研修責任者 …… 研修全体を統括する専任の研修責任者がいて、研修を指導・支援します。
- ●指導者 …… 各部署には4,5人の指導者がいて、実際の指導を行います。
- ●位置づけ …… 研修期間中は「研修生」と位置づけ、わかりやすいように名札で明示して協力を依頼します。

支援体制

- ●固定チーム
  デイパートナー方式……2人1組で日々の看護を行います。
- ●プリセプター……各新人看護師に1人ずつ相談・指導役のプリセプターが付きます。
- ●教育委員 ……プリセプターを支え、共に新人の指導を行います。
- ●看護師長 ……部署全体の教育環境を整えます。

あなたを育む道がある。

当院では、3ヶ月間の新人看護師臨床研修を行っています。
この期間は、新人看護師を「研修生」と位置づけ、
多くの看護師が関わって看護実践能力を高めます。その後は、配属部署で
看護師としてプリセプターの支援を得ながら仕事をしていきます。

「研修生」として入職

4月

■ ローテーション研修
ICU・手術室と4つの病棟を巡り、看護場面の体験を増やします。

■ 基礎看護技術研修
移乗介助や食事介助、導尿、注射など

■ 面接
研修責任者や看護師長から支援を受けます。

5月

■ 基礎看護技術研修
輸液ポンプの扱い、
輸血、与薬、救急看護など

■ 面接
研修責任者から支援を受けます。

6月中旬

■ 配属部署とその関連部署研修
配属部署とその関連部署
（外来、リハビリテーションなど）で
さらに研修を行い、経験を深めます。

「研修生」から「スタッフナース」へ

7月

■ 研修修了試験
■ 研修修了式・宿泊研修

8月

■ 夜勤開始／8～10月頃、夜勤に入ります。

9月

■ 振り返り
入職後の半年を振り返るカンファレンス。

■ 基礎看護技術研修
静脈留置針、医療安全（多重課題）など

「新人」から「一人前」のナースへ

2月

■ 面接／看護師長と面談して、自分の成長を評価。

■ 振り返り 1年を振り返ってカンファレンス。

宿泊研修

新人職員全員が参加する宿泊研修。どんな医療人になりたいかを多職種で考えます。

あなたを輝かせる道がある。

スペシャリストとして知識や技術を深める、マネジメント力を養うなど、あなたが目指すキャリアプランに応じた研修を行っています。専門・認定看護師資格取得や大学院進学などの院外での学習支援体制、災害看護の技能を修得する救護員研修等夢を実現するチャンスがあります。

卒後2・3年目研修

■卒後2年目の主な研修

救急対応研修:救急外来・手術室・ICUでの研修を実施。
医療安全、感染管理、災害看護論など

■卒後3年目の主な研修

チームリーダーの役割、
プリセプター入門、感染管理など

■キャリア開発ラダー

全国の赤十字病院共通のキャリア開発ラダーを導入しています。自分で到達目標を決め、それを目指してキャリアを磨くことができます。

院内研修

■専門・認定看護師による研修・指導

当院には、現在2領域の専門看護師2名と、18領域の認定看護師26名が勤務しています。これらの専門・認定看護師が講師をする研修や実際のベッドサイドでの指導・助言を受けることができます。

【専門看護師】
がん看護、災害看護

【認定看護師】
感染管理、糖尿病看護、透析看護、皮膚・排泄ケア、がん化学療法看護、がん性疼痛看護、救急看護、手術看護、集中ケア、緩和ケア、慢性心不全看護、乳がん看護、慢性呼吸器疾患看護、脳卒中リハビリテーション看護、摂食・嚥下障害看護、訪問看護、認知症看護、がん放射線療法看護

■チーム医療活動

院内では様々なチーム医療活動を行っています(栄養サポート、感染管理、医療安全、緩和ケア、褥瘡ケア、呼吸ケア、救護班)。それぞれのチームが主催する研修会が実施され、誰でも参加できます。

研究活動

■院内学会

毎年1月には、院内学会を開催し、
各部署での様々な研究成果が発表されます。

■院外学会

院外で行われる様々な学会でも
研究発表を行っています。

資格取得支援

経験を積み重ねていくと、看護をより専門的に学びたい、教養を深めたい、看護管理者や臨床実習指導者として必要な力をつけたい、など様々な学習欲求が生まれてきます。その内容により、研修期間中の資格取得にかかる費用等の援助などで、各人の学びを支援します。

- ●大学・大学院への進学
- ●実習指導者研修
- ●認定看護師資格取得
- ●専門看護師資格取得
- ●看護管理者研修
- ●特定行為研修

救護員養成研修

日本赤十字社は人道、公平、中立など世界共通の理念・原則のもとに世界191カ国の赤十字ネットワークと連携し、さまざまな人道的な活動を国の内外で行っています。また、2011年3月に発生した東日本大震災においても「こころのケア」要員を含め、救護班13班を派遣しています。

■救護員養成研修

災害時に救護員として活動できるように、卒後1年目から赤十字の理念や災害看護の知識・技術を学びます。3年間に所定の研修修了が認定されると「救護員」として登録されます。

■国際救援・開発支援要員

実務経験5年以上で英語力のある人を対象に本社で行われる研修を受講した後、派遣要員として登録されます。ハイチでの医療チーム活動(2010年6〜7月)、ウガンダ北部医療支援事業(2015年10月〜2016年3月)に看護師1名が参加しています。

あなたが活きる場所がある。

日本赤十字社
公式マスコットキャラクター
ハートラちゃん

看護の質を向上させるためには、働きやすい職場環境が整備されていることが重要です。
みんなが誇りをもって働けるように、様々な労働環境の向上にも努めています。

看護体制

看護配置7対1
固定チーム・デイパートナー方式

勤務時間

週38時間45分（週休2日）
変則2交代勤務
日勤／8:30～17:00
夜勤／15:50～翌日9:30

休暇

年次有給休暇、創立記念日（5月1日）、
産前・産後、育児、介護休暇、
結婚・忌引き、
永年勤続休暇などの
特別休暇

給与

4年制の卒業者…基本給 219,900円
3年制の卒業者…基本給 214,300円

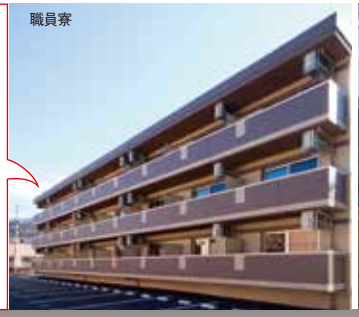
※上記に夜勤手当、時間外手当、
通勤手当、住居手当、
扶養手当等が加算されます。
※期末・勤勉手当あり

福利厚生

①各種社会保険あり
②院友会（病院職員で組織する互助会）
- ●テニス、バレーボール等の
  スポーツやハイキング、ボウリング、
  釣り等のレクレーション活動
- ●職員旅行（国内・海外）
- ●観劇・コンサート等のチケット補助、
  院内誌発行等
- ●診療見舞金制度

③日赤グループ独自の福利厚生制度あり
- ●慶弔見舞金
- ●日赤グループ保険
  （生命保険・医療保険）
- ●永年勤続記念品（旅行券）

④院内保育施設
⑤宿舎…ワンルームタイプ



第19回全国赤十字病（産）院スポーツ大会 フットサル部優勝

職員旅行

毎年行われる国内、海外への旅行で職員同士の交流と結束を深める

令和元年度は九州、東北、東京ディズニーランドなど14コースの旅行を企画・実施しました。同じ病院に働く仲間として医師、薬剤師や管理栄養士、事務職員等と共に楽しく旅する、そこでの交流は医療というチーム活動をさらに円滑にしてくれます。

東京ディズニーランド／令和元年度

北海道／令和元年度

院内保育施設

小さな子どもを育てながらでも安心して仕事に専念できる

生後57日から就学前までの乳幼児を対象にした院内保育施設「にこにこキッズ保育所」があります。毎月の誕生日会、遠足、夏祭り、保育参観などいろいろな行事も行っています。また、病気のこどもを預かる「キッズケアルーム」もあります。

【開所時間】7:30～21:00（キッズケアルームは月～金の8:30～18:30）※夜間保育、休日保育あり